三井住友トラスト・ホールディングス
SUMITOMO MITSUI TRUST HOLDINGS

とらすと通信

～営業のご報告12月号～

2019

トップメッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
私から、2019年度上期の業績および今後の取り組みについてご説明します。

2019年度中間期の連結業績結果

実質業務純益	親会社株主に帰属する中間純利益
1,541 億円	1,060 億円

取締役執行役社長
大久保　哲夫

第9期中間期
営業のご報告
2019年4月1日～ 2019年9月30日

1-4	トップメッセージ
5-6	特集:The Trust Bankの挑戦
7-8	サステナビリティ ～SDGsの目標達成に向けたリーダーシップの発揮～
9-12	三井住友トラスト・グループのトピックス
13-14	三井住友信託銀行 店頭クローズアップ
15-16	業績ハイライト
17	会社概要／役員／株式についてのご案内／株式の状況

1 業績の振り返りと株主還元について

2019年度中間期の連結業績につきましては、実質業務純益は1,541億円、親会社株主に帰属する中間純利益は1,060億円となりました。

当グループは、持続的かつ安定的な成長を確実なものにするため、資産運用・資産管理等の手数料ビジネス強化、資金ビジネスの収益性向上に取り組んでおります。その結果、前年同期との比較では、実質的な資金関連の損益の増益や、不動産仲介業務の好調な推移、法人関連業務における為替・デリバティブ取引等の非金利収益の貢献により、実質業務純益は72億円の増益、親会社株主に帰属する中間純利益は145億円の増益となりました。

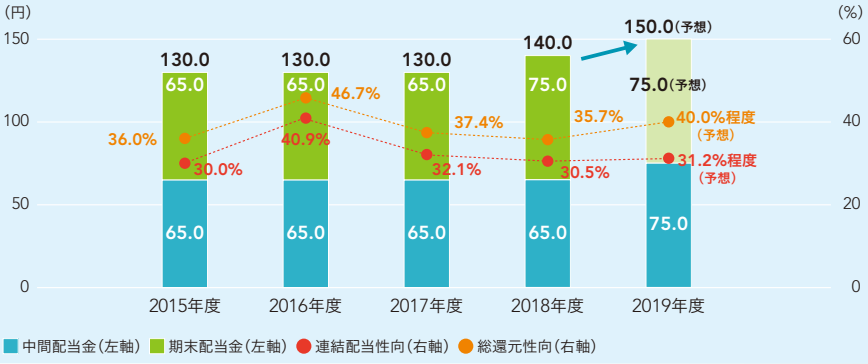
計画に対しても想定を上回る進捗となっており、中期経営計画最終年度である今年度の利益目標達成に向け、着実に施策を推進してまいります。

2019年度の普通株式の中間配当金につきましては、1株につき75円とさせていただきました。また、2019年度の普通株式の配当金（予想）につきましては、通期業績予想［親会社株主に帰属する当期純利益1,800億円（連結）］を前提と致しまして、2019年5月公表済みの1株につき150円から変更はございません。なお、2019年5～7月に実施した自己株式取得により、2019年度の総還元性向は予想利益ベースで40%程度と目標水準に到達する見込みです。

《株主還元方針》

業績に応じた株主利益還元策として、普通株式配当につき、連結配当性向30%程度を目処とする配当還元を維持しつつ、利益成長機会とのバランスや資本効率性改善効果を踏まえた自己株式取得等の実施により、中期的に、総還元性向を40%程度に段階的に引き上げ、還元の強化を目指すこととする。

1株当たりの配当金と連結配当性向・総還元性向の推移



※ 当社は、2016年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。
上記のグラフは、2015年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、配当金の推移を表記しています。

2 2019年度上期経営計画の振り返りについて

2019年度上期は、海外景気減速の影響を受け、製造業部門の輸出・生産が低迷したことから、国内景気の先行きに対する見方が不透明となった一方、「超高齢化社会の進展」「企業のガバナンスやESGへの意識の高まり」「デジタル化の加速」など、我が国の社会構造の変化の方向性は鮮明になりました。こうした環境のもと、当グループは、「信託銀行グループらしい」「三井住友信託ならでは」の高品質のトータルソリューションの提供に努め、順調な成果をあげることができました。

具体的には、個人のお客さまに対しては、人生100年時代の到来を踏まえ、大切な資産を守り、日々の暮らしの充実や安心した生活をサポートするサービスを組み込んだ「人生100年応援信託（100年パスポート）」の取り扱いを開始しました。法人のお客さまに対しては、当グループならではのトータルソリューションとして、機関設計や報酬制度の見直し等のコーポレートガバナンスの高度化に向けたコンサルティングを行うとともに、環境負荷の軽減を支援する再生エネルギープロジェクト等に関する資金ニーズに積極的にお応えしました。

また、企業年金・公的年金等のお客さまに対しては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが、英国の大手生命保険会社グループであるリーガル&ジェネラル・インベストメント・マネジメント社との協業を開始し、ESGに関する個別海外企業とのエンゲージメント活動※の強化を図りました。

これらに加え、デジタル技術をビジネスへ活用する具体的な取り組みとして、相続手続きにおける戸籍情報の整理から相続人関係図の作成までの自動化に着手したほか、ブロックチェーン技術を活用し、不動産ビジネスにおける物件情報等のより有効な管理・活用を目的としたプラットフォームの開発等を進めました。

※ 投資家と企業が、双方向コミュニケーションにより、相互理解を深める取り組みのことをいいます。

3 今後の取り組みについて

2019年度下期は、足許の不安定な経済環境を踏まえ、リスクへの備えを適切に進めるとともに、中期経営計画の総仕上げにグループ一丸となって取り組みます。また、将来に向けた成長の布石や構造課題の解消を進め、来年4月からスタートする次期中期経営計画につなげてまいります。

1 個人のお客さまの多様なニーズへの対応

これまでのシニア世代のお客さまへのコンサルティングや現役世代のお客さまへの住宅ローン等に加え、当グループの持つ不動産や信託機能を最大限活用し、お客さまのライフステージごとのニーズに応じたソリューションを提供してまいります。

2 顧客基盤・預かり残高の拡大

個人・法人を問わず、お客さまとの接点の多様化を図り、顧客基盤・預かり残高の拡大を図るとともに、法人のお客さまに対しては、ESG経営への意識の高まりを踏まえ、コンサルティングの幅を広げてまいります。また、6月に発表したUBSグループとの資本・業務提携を通じ、両グループが有する幅広い商品・サービスを有機的に組み合わせることで、富裕層のお客さまへ個別の商品提供にとどまらない最適なソリューションを提供してまいります。

3 コスト構造の見直し

中長期的なコスト構造の見直しに向けて、デジタル技術を活用した業務効率化策の推進や、ブロックチェーンを活用したプラットフォームの構築に加え、グループ内の各種システムのクラウド化等を進めていきます。

4 フィデューシャリー・デューティーの高度化や規制への的確な対応

フィデューシャリー・デューティーについては、当グループの差別化の源泉として、お客さま本位の業務運営のさらなる定着や浸透を継続的に進めていきます。
また、コンプライアンス面では、当グループが国内外で金融ビジネスを展開する上でのミニマムスタンダードをクリアするための標準装備として、グループ全体で、マネーロンダリング対策をはじめとする各種規制に適切に対応していきます。

4 株主の皆さまへ

経済・金融環境や社会構造が大きく変化するなか、お客さまやマーケットの価値観やニーズ・課題、さらには行動といったもの全てが変わりつつあります。

当グループは、これまでも時代の変化に応じてビジネスモデルを進化させてきましたが、今後も、自らの有する多様な機能を有効に活用し、トータルソリューションを提供することにより、お客さまの「ベストパートナー」としての地位を獲得していきたいと考えております。引き続き、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いします。

特集 The Trust Bankの挑戦

人生100年時代 お客さまのベストパートナーに向けて

三井住友信託銀行は、「人生100年時代」におけるお客さまのベストパートナーとして、
信託の機能を生かしたさまざまなソリューションを提供していくことを目指しています。

お客さまの人生100年を

現役期の資産形成やリスクへの備え

積立投資をはじめとする多様な商品・サービス、高度な資産運用ノウハウでお客さまの資産形成やリスクへの備えをしっかりサポートします。

三井住友トラスト・資産のミライ研究所

人生100年時代における資産形成や資産活用に関するニーズへの対応および悩みの解決を目的として、2019年9月1日に当社内に新設しました。資産形成に貢献するための調査・研究のほか、セミナー等を通じた継続的な情報発信にも特色を発揮しています。

人生100年安心プラザ

三井住友信託銀行の保険販売子会社である三井住友トラスト・ライフパートナーズは、保険を中心に、お客さま一人ひとりの人生に寄り添った「ライフサイクルに応じた“安心”」(リスクへの備え)を提案していきます。9月に新宿営業所を開設し、平日夜間(20:30まで)や土日祝日もご相談を承っています。

保険のことなら
人生100年
安心プラザ

三井住友トラスト・ライフパートナーズ

信託の機能を生かした新たなソリューションの開発・提供を目的とした

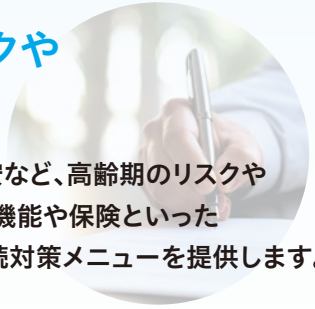
「人生100年応援部」を新設！

「人生100年時代」の到来で生じる社会の変化や課題に、信託機能を最大限に活用した先進的なソリューションを開発し、きめ細かなコンサルティングを通じて、安心や安全、楽しみを提供していきます。
人生100年時代のベストパートナーとして、皆さまから選ばれる金融機関を目指す、三井住友信託銀行の活動に今後もご期待ください。

人生100年応援部長
谷口（たにぐち） 佳充（よしみつ）

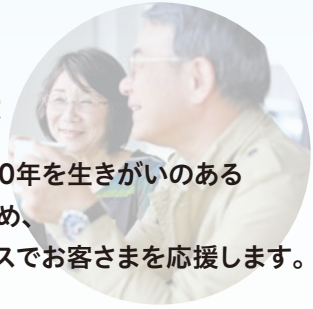
応援するソリューションを！

高齢期のリスクや相続への備え



認知症や健康への不安など、高齢期のリスクや相続に備え、財産管理機能や保険といったセーフティネットや相続対策メニューを提供します。

人生を楽しむお客さまを応援



健康を維持して、人生100年を生きがいのある素晴らしいものにするため、特色のある商品・サービスでお客さまを応援します。

身近に頼れる人がいない高齢のお客さまのために

一般社団法人 安心サポートの営業を開始しました。
施設への入居保証、財産の管理、介護サービスなどの契約代行、見守り、死後事務などを行います。

民法改正で近づく「誰もが遺言を作成する時代」に向けて

時間を選ばず、簡単に遺言信託の相談が始められるWEB遺言信託サービスを開始しました。分かりやすいガイドに沿ってご相談を進めていただくことができます。

「認知症リスクや相続への備え」と「楽しみ」をより利用しやすく

認知症などの判断能力の低下に備えて、元気なうちに信頼できるご家族等に支払い手続きをまかせておくことができる信託商品「人生100年応援信託〈100年パスポート〉」。10月からより多くのお客さまにご利用いただくために、手数料の見直しや提携サービスの拡充を行いました。

サステナビリティ
～SDGsの目標達成に向けたリーダーシップの発揮～

今や世界の共通言語となった「SDGs」（持続可能な開発目標）を通じて、国や人がつながり、持続可能な社会の実現に向けた結び付きを強めています。さまざまな業界・企業がSDGsと事業を結び付けて取り組みを進めており、2018年3月には全国銀行協会が「行動憲章」にSDGsの考え方を反映させました。
SDGsはビジネスの現場でも注目され、世界中でSDGsを意識した事業創出による資金需要が生み出され、新たな金融ビジネスの機会を提供しています。

▶ 責任銀行原則への署名

三井住友トラスト・ホールディングスは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱し、9月22日に発効した「責任銀行原則（PRB：Principles for Responsible Banking）」に署名しました。

「責任銀行原則」は、銀行業務を、SDGsや気候変動に関するパリ協定※に示されている人権問題や温暖化対策などの社会的な目標に即したものにすることを目的に策定されたものです。9月22日ニューヨークにおいて、当社は、SDGsおよびパリ協定との整合性をもって戦略的に事業を行うため最大限に努力することを表明し、責任銀行原則の発足署名機関となりました。

SDGsやパリ協定が掲げる課題の解決には、多様なステークホルダーの連携が不可欠であり、とりわけ資金を最適に配分するサステナブル金融の役割は極めて大きいといえます。三井住友トラスト・グループは、これまでも信託銀行の機能を活用して環境問題の解決に注力してきましたが、今後さらにそうした取り組みを加速させ、銀行業界においてリーダーシップを発揮していきます。

※ パリ協定とは、2015年に採択された、歴史上初めて先進国・開発途上国の区別なく気候変動対策の行動をとることを義務付けた合意。

▶「私たちのSDGs宣言」の策定

三井住友信託銀行では、組織としての取り組みだけでなく、社員一人ひとりが「私たちにできることは何か」を考え、業務や社外の活動を通じてSDGs目標の達成を目指しています。

2019年8月までに、全国にある134の全支店が自ら策定した「私たちのSDGs宣言」を、各支店の最大のコミュニケーションツールである「With You支店ブログ」において公表しています。「私たちのSDGs宣言」は、①SDGs目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」と、各支店が達成したいと考えるSDGs目標（目標1～16のうち一つ）の、あわせて二つの目標を達成するためのアクション、②その達成度合いを計るKPI目標について、各支店が自ら策定し実践しようという取り組みです。

目標1～16のうち一つ

私たちのSDGs宣言
こちらから当社の取組事例がご覧になれます。

With You支店ブログ
各支店の取組詳細については、こちらをご覧ください。

「With You支店ブログ」では、「私たちのSDGs宣言」に基づく各支店の独自のサステナビリティ活動や、宣言達成に向けた具体的な取り組みについてもタイムリーに発信しています。

【取り組み事例】

・地域の団体と連携した活動

日本橋営業部：マンスリーSDGs通信、のれん展をはじめとしたまちづくりイベントへの参画
北九州支店：魚町銀天街、市役所と連携した各種SDGsイベントの企画

・プラごみゼロに向けた活動

藤沢支店：SDGs宣言で湘南の海を保全する活動を展開
吉祥寺支店：活動の見える化で支店全員への意識付け

市川支店七夕ロビー

小金井支店勉強会

三井住友トラスト・グループのトピックス

※関連するSDGs目標

三井住友トラスト・ホールディングス／三井住友信託銀行

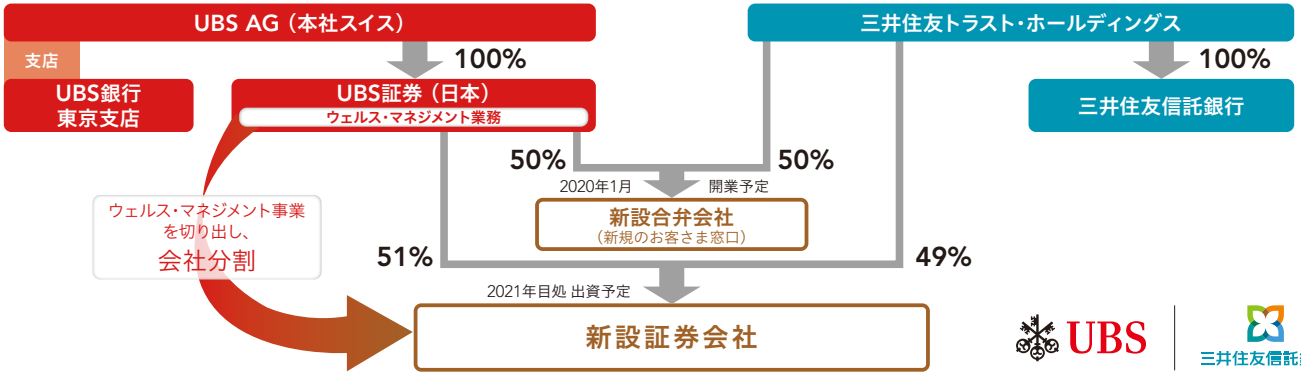
UBSグループとのウェルス・マネジメント事業の資本・業務提携

三井住友トラスト・ホールディングスおよび三井住友信託銀行は、2019年6月、UBS証券およびUBS銀行東京支店と、日本における富裕層向けウェルス・マネジメント事業（以下、「WM事業」）での資本・業務提携を行うことについて合意しました。

2021年を目処に、UBS証券からWM事業を会社分割して新たな証券会社（以下、「新設証券会社」）を設立し、その株式の49%を三井住友トラスト・ホールディングスが取得します。これにより、三井住友トラスト・グループは、日本におけるUBSグループのWM事業に参画するとともに、新設証券会社の有する機能の提供を受けることとなります。

また、これに先立ち、2020年1月に、UBS証券と三井住友トラスト・ホールディングスの折半出資により、本提携に際してのお客さま窓口として、サービス提供にかかるカウンセリングやセミナー開催などを行う合弁会社を設立し、UBS証券と三井住友信託銀行による協業を開始する予定です。

本提携を通じて、UBSグループの有する世界有数の資産運用・証券サービスと、三井住友信託銀行の有する相続・資産承継、不動産などの幅広い商品・サービスを有機的に組み合わせることで、富裕層のお客さまの多様かつ複雑な課題やニーズに対して、商品提供にとどまらない最適なソリューションをワンエンティティ（お客さま窓口は1社）で提供する、他に類を見ないビジネスモデルである「トータル・ウェルス・マネジメント」の確立を目指します。



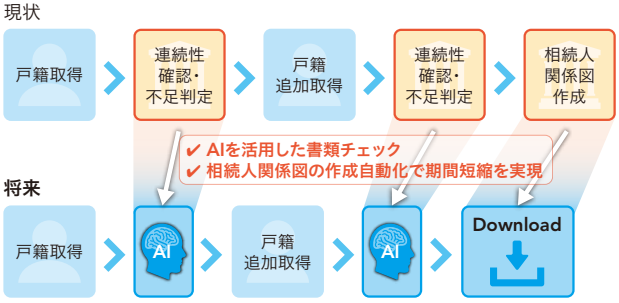
三井住友信託銀行

相続関連事務自動化への取り組みに関するビジネスモデル特許の出願

2019年8月、三井住友信託銀行は、新たなサービス開発の一環として、デジタル技術を活用した戸籍情報の整理から相続人関係図の作成までを自動化する取り組みに着手するとともに、ビジネスモデル特許を出願しました。

ご相続発生後、金融機関での名義変更などの手続きには、出生から死亡時までの連続した戸籍謄本等を揃え、法定相続人の確定を行う必要があります。現状、この確定作業に相当な時間を要しており、加えて戸籍謄本等が不足している場合は、ご自身で追加取得いただく場合があるなど、お客さまにとってご負担となっています。

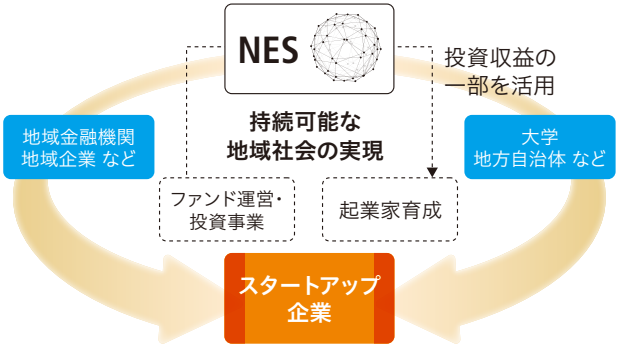
本取り組みでは、AI等のデジタル技術を活用して戸籍謄本の不足チェックを行い、相続人関係図の作成などの自動化を実現することで、お客さまからのご要望が多い相続手続きの負担軽減と期間の短縮化を目指します。



株式会社レジェンド・パートナーズとの投資ファンド運営会社共同設立

三井住友信託銀行は、2019年7月、ベンチャー投資育成を手がける株式会社レジェンド・パートナーズとの間で、起業家育成とスタートアップ企業への資金供給を行うことを目的としてNES株式会社（以下、「NES」）を共同設立しました。

近年、国内のスタートアップ企業への投資は活発に行われていますが、大都市圏だけでなく、地方においても起業家を育成する社会システムの構築が求められています。NESでは、投資収益の一部を用いて、上場企業創業者あるいは事業経験のある投資家が有する豊富な経営ノウハウの伝承や起業家育成の場を、大学・地方自治体などと連携しながら提供していく予定です。これにより、起業家創出の切れ目のない好循環、ひいては持続可能な地域社会の実現（SDGsの達成）に取り組んでいきます。



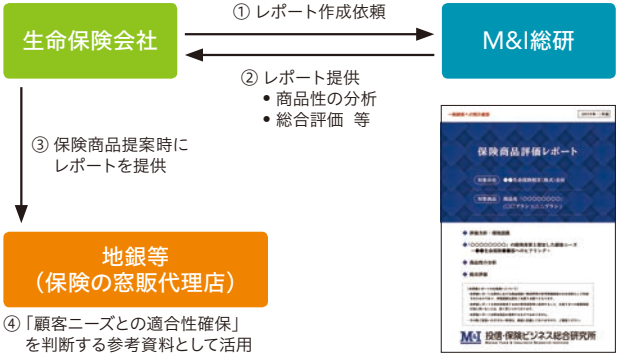
投信・保険ビジネス総合研究所

「保険会社向け商品評価レポート提供サービス」の開始

投信・保険ビジネス総合研究所（以下、「M&I総研」）は、2019年5月から、保険会社が組成した保険商品に対して、その商品性や顧客ニーズとの適合性などを分析・評価する「保険会社向け商品評価レポート提供サービス」を開始しました。

依頼主である保険会社は、第三者評価機関であるM&I総研が作成した本レポートを、商品採用を検討する地銀等の窓販代理店に「顧客ニーズとの適合性確保」を判断する参考資料として提供することが可能です。保険分野では国内初のサービス※であり、M&I総研は今後も提供サービスの範囲を広げながら、金融機関における「お客さま本位の業務運営の高度化」を支援していきます。

※ M&I総研調べ



三井住友トラストクラブ

新広告キャンペーンCM「THIS IS YOUR UNIVERSE.」の放送開始

ダイナースクラブカードを展開している三井住友トラストクラブは、2019年秋、テレビCMを中心に新広告キャンペーン「THIS IS YOUR UNIVERSE.」をスタートしました。

キャストには、信念をもって自分の人生を切り開き、各分野で高い評価を受けている4名の方にご出演いただいています。自分らしく歩み続ける真摯な姿を描くことで、ダイナースクラブは彼らのように全力で生きる人を支える、そして彼らの「人生という旅」をサポートするブランドであることを、力強く打ち出していきます。

キャスト：永瀬正敏氏（俳優）、髙瀬譜希子氏（ダンサー／振付師）、
内野洋平氏（BMXライダー）、高澤義明氏（料理人）

こちらから
ダイナースクラブ
ウェブサイト特設ページが
ご覧になれます。

特設ページではテレビCMの30秒／60秒バージョンのほか、キャスト単独バージョン、インタビュー動画も公開中です。

三井住友トラスト・アセットマネジメント

東京水道
～企業の森（ネーミングライツ）への参画

2019年7月、三井住友トラスト・アセットマネジメントは、東京都水道局が提唱する「みんなでつくる水源の森実施計画」に賛同し、同局と「東京水道～企業の森（ネーミングライツ）」（以下、「企業の森」）の協定を締結しました。

この協定に基づき、山梨県甲州市内の3.01haの水道水源林を「SMTAMの森※」と命名し、今後3年間、多摩川上流にある水道水源林の保全育成活動に取り組んでいくこととしました。また、この活動を職員研修に組み入れ、ESGへの取り組みを企業文化として根付かせていく計画です。

「企業の森」に参画することで、企業市民として、地域の水資源・森林資源の保全や森林の持つ生物多様性保全機能の維持に努め、SDGsの達成に貢献していきます。

※「SMTAM」とは、三井住友トラスト・アセットマネジメントの略称

左：三井住友トラスト・アセットマネジメント 菱田代表取締役社長

日興アセットマネジメント

イノベーションをテーマとした
子供向けイベントを初開催

日興アセットマネジメントは、2019年8月、小学生とその保護者を対象とした特別企画「夏休み！わくわくイノベーション教室」を開催しました。当イベントは、子供が身近な最新技術に触れ、知的好奇心を育む場を提供するだけでなく、世の中を変えるイノベーションの素晴らしさを子供から大人まで多くの方々に知ってもらうことを目的としています。

第１回目は「宇宙」をテーマに、宇宙ミュージアム「TeNQ」の施設見学や、超小型衛星ビジネスを展開する株式会社アクセルスペースの代表取締役CEOによる宇宙セミナーへの参加およびオフィス見学を行いました。参加者には、新たな社会的・経済的価値を生み出すイノベーションに直接触れていただく機会となりました。

日興アセットマネジメントは、今後も社会・経済活動に資するさまざまな情報発信の取り組みを推進していきます。

左：1/2サイズの超小型衛星模型を使いながら説明する株式会社アクセルスペース 中村氏　右：日興アセットマネジメント 今福氏による会社概要説明

三井住友信託銀行　店頭クローズアップ

支店でのさまざまな活動をご紹介します。

当グループがお客さまにとって一番身近な「信託銀行」となるよう、三井住友信託銀行の支店の特徴、地域の皆さまとの触れ合い、また、社員からお客さまへのメッセージをご紹介致します。今回は、荻窪支店と岡山支店・岡山中央支店です。

荻窪支店

60TH ANNIVERSARY

文化や緑の溢れる荻窪の皆さまに支えられています

荻窪は古くから多くの作家や画家など、文化人に愛されてきた静かな街です。都心にも近く、緑豊かな住みやすい街として人気を集めています。当店のお客さまには、ご自宅以外にも不動産をお持ちの方が多く、金融資産の運用相談のみならず、不動産の有効活用や相続対策、次世代への財産承継のご相談なども承っています。

また、当店は地域の皆さまに心の豊かさと役立つ情報を提供するため、セミナーやイベントを定期的に開催し、ご好評をいただいています。そのほか、当店は地域の皆さまと交流する機会として「荻窪音楽祭」に毎年参加しており、支店ロビーでクラシックのミニコンサートを開催しています。

荻窪の皆さまに支えられて60年。これからも末永く、皆さまにより一層ご満足いただけるよう、社員一同努力を続けていきます。

荻窪とは…

- **中央線沿線に位置し、住みたい街ランキング上位**
- **緑豊かな自然に恵まれた住みやすい街**
- **ラーメン、カレーの名店が多いことでも有名**
- **クラシック音楽の街。毎年秋に「荻窪音楽祭」が開催される**

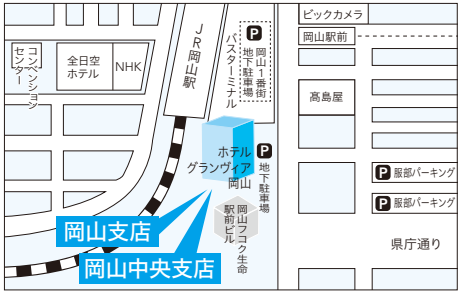
「支店ブログ」で支店の活動を紹介中
こちらから、地域での活動やイベント情報など
取組事例がご覧になれます！

荻窪支店

荻窪音楽祭ミニコンサート

担当者からひとこと

当店は文化や緑に溢れる荻窪エリアのお客さまに支えられ、開店60周年を迎えました。お仕事やお買い物帰りのお客さまだけでなく、ご家族3世代でご来店される方もいらっしゃいます。平日夕方や第二土曜日もご相談を承っていますので、お気軽にご来店ください。



（地図左）
荻窪支店
東京都杉並区上荻1丁目18番10号
電話: (03) 3392-5151

（地図右）
岡山支店・岡山中央支店
岡山県岡山市北区駅元町1番5号
電話: (086) 231-2121
(086) 225-3101

岡山支店・岡山中央支店

お客さまのベストパートナーを目指しています

岡山支店・岡山中央支店では、継続的にSDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に向けた取り組みを実施するべく、「私たちのSDGs宣言」を策定しました。

目標達成の第一歩として、2019年11月に「岡山の歴史と文化を考える」をテーマに、第一回シルバーカレッジを日本初の西洋美術館である大原美術館にて開催しました。本セミナーは、安心・安全で充実したセカンドライフを送るために必要な「備え」や、地域の歴史や文化について、各界の第一人者の方々にご教授いただく学びの場として、全4回開催する予定です。

また、当店では、認知症対策や医療介護をテーマとしたロビー展を開催するなど、健康や住まいに関する情報発信にも取り組んでいます。これからも地域のお客さまと共に歩んでいく支店を目指していきます。

岡山支店・岡山中央支店「私たちのSDGs宣言」

- **シニア世代のお客さま向けの豊かなセカンドライフのための シルバーカレッジを開催する**
- **育児休暇の取得推進等を通じ多様な人が 活躍できる職場にする**

「支店ブログ」で支店の活動を紹介中
こちらから、地域での活動やイベント情報など取組事例がご覧になれます！

担当者からひとこと

皆さまが抱えるさまざまなお悩みに対し、お一人お一人のお考えにあった対策を提案させていただきます。専門知識を備えた担当者がお待ちしておりますので、是非お気軽にご相談ください。店内ロビーにSDGsコーナーを設けており、今後も情報発信に努めてまいりますのでご来店の際は是非ご覧ください。

岡山支店・岡山中央支店

SDGs紹介コーナー

業績ハイライト

2019年度中間期決算の概要（連結）

（単位：億円）

	2018年度中間期	2019年度中間期	増減
実質業務純益※1	1,469	**1,541**	72
実質的な資金関連の損益※2	1,285	**1,309**	23
手数料関連利益※3	2,048	**2,015**	△ 32
その他の利益	338	**445**	107
総経費	△ 2,202	△ **2,228**	△ 26
経常利益	1,403	**1,511**	107
親会社株主に帰属する中間純利益	915	**1,060**	145
与信関係費用	133	△ **12**	△ 145

（単位：億円）

	2018年度中間期	2019年度中間期	増減
株主資本当期純利益率（株主資本ROE）	8.46%	**9.32%**	0.86%
自己資本当期純利益率（自己資本ROE）	6.91%	**7.96%**	1.05%
	円 銭	円 銭	円 銭
1株当たり中間純利益（EPS）	241.31	**281.86**	40.55

	2018年度	2019年度中間期	増減
総資産	570,291	**570,953**	662
純資産	27,303	**27,077**	△ 226
	円 銭	円 銭	円 銭
1株当たり純資産（BPS）	7,008.67	**7,133.81**	125.14

三井住友信託銀行（単体）

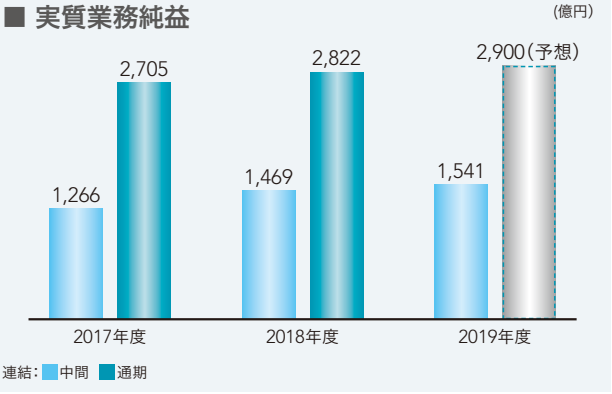
信託財産残高	211兆円	**217兆円**	6兆円

※1 実質業務純益は、持分法適用会社の損益等も考慮した社内管理ベースの計数です。
※2 実質的な資金関連の損益は、「資金関連利益」に「外国為替売買損益」に含まれる外貨余資運用益を加算したものです。
※3 2018年度中間期比の主な減少要因には、2018年10月のJTCホールディングス設立に伴う日本トラスティ・サービス信託銀行の非連結化影響（約△50億円）が含まれています。

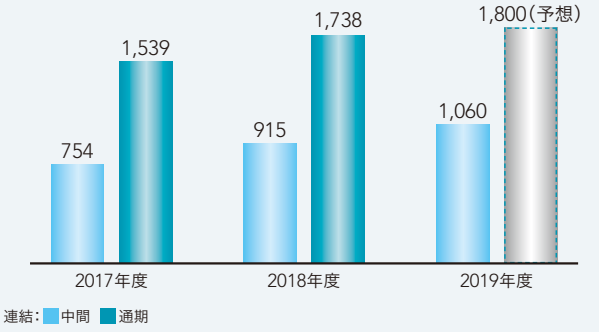
2019年度中間期振り返り

- 実質業務純益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに前年同期比増益、公表予想も上回り、中期経営計画最終年度の利益目標達成に向け順調な進捗
- 専業信託銀行グループとして、手数料ビジネスのさらなる強化やバランスシートの効率性・収益性の向上等、現中期経営計画の主要施策が着実に進展
- 自己資本比率等は、規制所要水準を十分に上回って推移

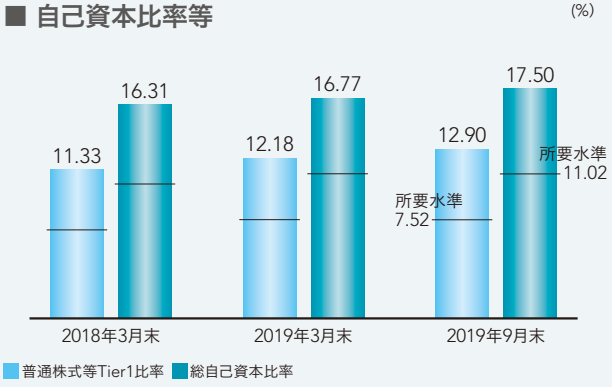
■ 実質業務純益



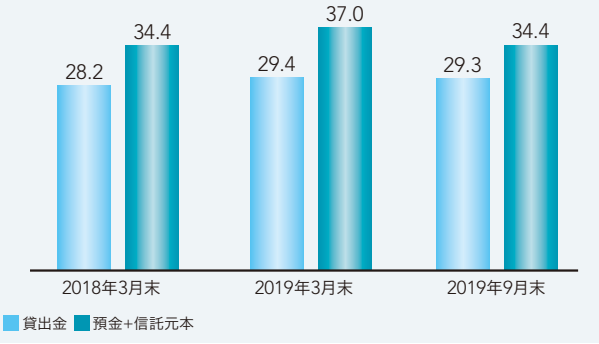
■ 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



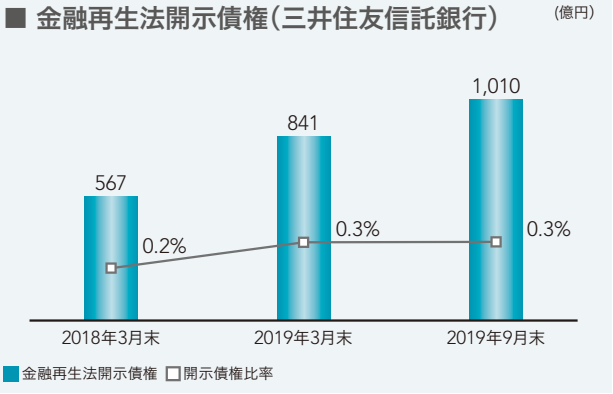
■ 自己資本比率等



■ 貸出金・預金(三井住友信託銀行)



■ 金融再生法開示債権(三井住友信託銀行)



会社概要（2019年9月30日現在）

商　　号	三井住友トラスト・ホールディングス株式会社 <英語表記：Sumitomo Mitsui Trust Holdings, Inc.>
設　　立	2002年2月1日
資 本 金	2,616億872万5,000円
本　　店	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 ☎ 03-6256-6000（代表）
上場証券取引所	東京（第1部）、名古屋（第1部） 証券コード：8309

役員（2019年9月30日現在）

取締役執行役社長 （代表執行役）	大久保（おおくぼ） 哲夫（てつお）	取締役	常陰（つねかげ） 均（ひとし）	取締役（社外）	松下（まつした） 功夫（いさお）
取締役執行役専務 （代表執行役）	荒海（あらうみ） 次郎（じろう）	取締役	首藤（しゅどう） 邦之（くにゆき）	取締役（社外）	齋藤（さいとう） 進一（しんいち）
取締役執行役専務 （代表執行役）	西田（にしだ） 豊（ゆたか）	取締役	田中（たなか） 浩二（こうじ）	取締役（社外）	吉田（よしだ） 高志（たかし）
取締役執行役	橋本（はしもと） 勝（まさる）	取締役（社外）	鈴木（すずき） 武（たけし）	取締役（社外）	河本（かわもと） 宏子（ひろこ）
取締役	北村（きたむら） 邦太郎（くにたろう）	取締役（社外）	荒木（あらき） 幹夫（みきお）	取締役（社外）	麻生（あそう） 光洋（みつひろ）

株式についてのご案内

決算期	3月31日
配当金受領 株主確定日	期末配当金…3月31日 中間配当金…9月30日
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。 （電子公告のサイトのURLは、https://www.smth.jp/です） ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載致します。

株式事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 • 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 • 電話照会先 0120-782-031
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

株式の状況（2019年9月30日現在）

発行可能株式総数	890,000,000株
発行済株式の総数	普通株式…375,291,440株
株主数	普通株式…58,776名

こちらから、とらすと通信の本誌
およびバックナンバーをご覧いただけます。

経営理念（ミッション）

(1) 高度な専門性と総合力を駆使して、お客さまにとってトータルなソリューションを迅速に提供してまいります。

(2) 信託の受託者精神に立脚した高い自己規律に基づく健全な経営を実践し、社会からの揺るぎない信頼を確立してまいります。

(3) 信託銀行グループならではの多彩な機能を融合した新しいビジネスモデルで独自の価値を創出し、株主の期待に応えてまいります。

(4) 個々人の多様性と創造性が、組織の付加価値として存分に活かされ、働くことに夢と誇りとやりがいを持てる職場を提供してまいります。

目指す姿（ビジョン）
ー「The Trust Bank」の実現を目指して ー

三井住友トラスト・グループは、信託の受託者精神に立脚し、高度な専門性と総合力を駆使して、銀行事業、資産運用・管理事業、不動産事業を融合した新しいビジネスモデルで独自の価値を創出する、本邦最大かつ最高のステイタスを誇る信託銀行グループとして、グローバルに飛躍してまいります。

行動規範（バリュー）

私たち、三井住友トラスト・グループの役員・社員は、グループ経営理念を実践するため、以下の6つの行動規範を遵守してまいります。

お客さま本位の徹底 ー信義誠実ー

私たちは、最善至高の信義誠実と信用を重んじ確実を旨とする精神をもって、お客さまの安心と満足のために行動してまいります。

社会への貢献 ー奉仕開拓ー

私たちは、奉仕と創意工夫による開拓の精神をもって、社会に貢献してまいります。

組織能力の発揮 ー信頼創造ー

私たちは、信託への熱意を共有する多様な人材の切磋琢磨と弛まぬ自己変革で、相互信頼と創造性にあふれる組織の力を発揮してまいります。

個の確立 ー自助自律ー

私たちは、自助自律の精神と高い当事者意識をもって、責務を全うしてまいります。

法令等の厳格な遵守

私たちは、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会規範にもとることのない企業活動を推進してまいります。

反社会的勢力への毅然とした対応

私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対して、毅然とした姿勢を貫いてまいります。

三井住友トラスト・ホールディングス
SUMITOMO MITSUI TRUST HOLDINGS

Waterless Printing Naturally

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C014687

本冊子は環境にやさしい植物油インキと適切に管理された木材を原料としてつくられた「FSC®認証紙」を使い、「水なし印刷」で印刷しています。

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

表紙写真：北海道 小樽運河